

# 週刊今株ドットコム

2010年  
1月9日号

## 新春特別号

勝負は1週間～4週間! 短期投資で儲けるための最新銘柄情報を毎週末提供!

日経平均株価は年初から高値追い、選別物色の流れが本格化

明けましておめでとうございます。本年も「価値ある銘柄情報」の提供に全力投球いたしますので、何卒、ご愛顧のほどよろしく願いいたします。

今年は1月4日の大発会から日経平均株価が続伸、5日には昨年8月の高値を更新しました。ところで、経済紙のアンケートによりますと、信越化学工業(4063)が、「経営者が選ぶ有望銘柄ランキング」の1位になっていました。好スタートを切った東京株式市場ですが、短いようで長い1年、どんな銘柄が活躍するか楽しみです。

「週刊・今株ドットコム」編集部

## CONTENTS

週刊・今株ドットコム 2010年1月9日 新春特別号

相場の裏オモテを知り尽くした経済評論家 杉村富生が推奨する今週の特選銘柄	2
ニュースも材料も必要なし テクニカル指標で見つける大ヒット候補株	3
的中率抜群の株式分析ソフトで儲ける 本誌が厳選する今週の妙味銘柄	4
買い銘柄と売り銘柄のサヤで儲ける 今週のベアトレード大作戦!	5
ニューヨーク・ダウをサキヨミする!	6
「ミニ先物」をサキヨミする!	7
Mr.ストップ高 天海源一郎の「儲けてこそ、株!」 column カラ売り専科	8
注目銘柄チャート分析 タラレバ編集後記	9
新春特別企画 2009年相場検証 月別値上がり・値下がり第1位銘柄一覧	10

(注) 本誌は、株式投資の銘柄や投資手法に関する情報提供を目的としたものです。掲載された各銘柄や投資手法にはそれぞれの投資リスクが存在しますので、投資に関する最終的な確認および決定は、投資家ご自身の判断でお願いします。なお、実際の株式投資における損失につきましては、株式会社実業之日本社および編集協力企業、本誌執筆・編集スタッフ等はいっさい責任を負いかねます。また、業績数字や株価などの各データにつきましては、できるかぎり最新のものを正しく掲載するよう努力いたしますが、その正誤につきましても投資家ご自身によるご確認をお願いいたします。  
\*チャート提供/編集協力:(有)増田経済研究所

(注)「増田足チャート」の問い合わせは、以下までお願いします。  
homepage@masudaasi.co.jp Tel:045-581-2408 Fax:045-581-2444

相場の裏オモテを知り尽くした経済評論家  
**杉村富生が推奨する今週の特選銘柄**



杉村富生 ● 経済評論家

**ドル・キャリー・トレードの巻き戻し?**

ドル・キャリー・トレードの巻き戻しが続いている。短期的には円安が進行、原油・金・穀物市況、新興国通貨・株式が反落する可能性があるだろう。当然、円安→株高のパターンとなる。ただ、大幅安は考えにくい。高値もち合いの展開となろう。テクニカル的には正念場だ。物色面ではこれまで無相場だった銘柄が買われるだろう。いわゆる出遅れ株を買う動きである。一方、先駆した株はいかに、テーマ性内包・好業績であっても、上昇一服となろう。

**杉村富生の特選銘柄① 任天堂**

7974 大証 1部 売買単位100株

**思惑材料が出現** クリスマス商戦で「wii」の販売が予想外に好調だったという。マーケットでは、5～6年周期の「新型ゲーム機の発売が近い」との思惑材料が出現している。一方、2010年3月期は、計画通りの収益を確保できる見通しにある。株価は、2007年11月1日の高値73,200円を天井とする長期下降トレンドに終止符を打ち、反騰態勢を固めつつある。今期配当は960円予想で、時価なら配当利回りは3.8%となる。

売買メド  
 直近値 ● 25,580円  
 目標値 ● 30,000円



**杉村富生の特選銘柄② みずほフィナンシャルグループ**

8411 東証 1部 売買単位 1株

**配当利回りが4.7%** 昨年11月27日には146円の安値まで売り込まれたが、ここに来て出直り色を鮮明にしている。ファイナンス発表は「悪材料出つくし」と受けとめられており、これ以上は売り込みにくくなっている。それに、2010年3月期は8円配当を行なう。仮に、時価の170円がらみの水準では配当利回りが4.7%になる。まあ、配当を取る必要はないが、昨年7月の増資（公募価格184円）を意識した動きが予想される。

売買メド  
 直近値 ● 180円  
 目標値 ● 190円



# ニュースも材料も必要なし テクニカル指標で見つける大ヒット候補株

担当/マーケット・アナリスト 三上 守

## RCIを売買シグナルとして使う方法

RCIの使い方として、まず最初はRCI曲線のレベルで判断する。-100%から+100%の範囲の中で、-80%以下が売られ過ぎ、+80以上は買われ過ぎと見る人が多いようだが、パラメーターの取り方によって応用が必要だ。レベルは重要だが、売買シグナルとしては、RCIが低下から上昇に転じる陽転、逆の陰転のタイミングや、パラメーターが異なる2本のRCIを描いて、そのゴールデンクロス、デッドクロスによって判断するという方法が分かりやすく、確率も高い。

### 大ヒット候補株① ユアテック

1934 東証1部 売買単位1,000株

**上値抜けで加速** 1カ月余り、12月3日の531円をピークにしたもみ合いが続いているが、狭いレンジでのもみ合いでは、短めの5日、10日RCIが成果を出している。ただ、ここまで下値をしっかりと切り上げる波動で、目先上放れの可能性も十分考えられるので、長めの10日、20日RCIで見ると、目先+30%台の妙味あるレベルでゴールデンクロスの公算が高い。531円が第1目標だが、これを抜けば加速しよう。

売買メド  
直近値 ● 510円  
目標値 ● 531円



### 大ヒット候補株② アルファ

3434 東証1部 売買単位100株

**10日RCI陽転が間近** 12月22日に750円の高値をつけてから、当然のスピード調整も、下げ幅は100円とどまり、600円台後半の現値付近は下値に安定感がある。5日、10日RCIはマイナス圏でゴールデンクロスしたばかりで、目先的に値幅を取れる可能性が高いほか、10日RCIを見ると、下落中ではあるが、ほぼ-100%に到達しており、陽転タイミングを捉えれば、さらに大きな値幅も期待できる。

売買メド  
直近値 ● 688円  
目標値 ● 700円



# 的中率抜群の株式分析ソフトで儲ける 本誌が厳選する今週の妙味銘柄

担当／本誌 株式分析ソフト研究班

## 「買いサイン」点灯銘柄の日立キャピタルと下放れ銘柄の東海ゴム

株式投資で儲けるためには、なんといっても銘柄選びが基本となる。しかし、銘柄検索には、相当程度の時間と労力を要するため、決して楽な作業ではない。そこで本誌が注目したのが、市販の株式分析ソフト「増田足チャート」を使って妙味銘柄を見つけ出すこと。このソフトには、「買いサイン」点灯銘柄や上放れ銘柄などのほか、下放れ銘柄といったカラ売りに適した銘柄も適時配信しているので、実戦投資の参考になる（お試しソフト1カ月間無料＝「増田足」で検索）。

### 本誌厳選妙味銘柄① 日立キャピタル

8586 東証1部 売買単位100株

**出直り歩調鮮明** 1月7日に、「増田足チャート」の「買いサイン」点灯銘柄となった株。先週、業種別で「その他金融」の買いが目立ったが、これは民主党政権が中小企業の救済のため、ノンバンクの総量規制を見直すのではないかと観測が支援材料。当社株は、ノンバンクのなかでは業績が比較的安定しており、日立グループの金融中核企業ということもあって、買い安心感がある。株価は昨年末から上値追いの展開。

売買メド  
直近値 ● 1,215円  
目標値 ● 1,246円以上



### 本誌厳選妙味銘柄② 東海ゴム工業

(カラ売り=信用の売り建て銘柄)

5191 東証1部 売買単位100株

**税引き利益赤字へ転落** 日経平均株価が昨年来高値を更新した先週でも株価はまったく冴えず、下放れが鮮明になってきた。1月7日には75日移動平均線が200日移動平均線を下回るデッドクロスとなり、典型的な戻り売りパターンになった。昨年12月10につけた909円を割り込めば、11月27日の877円への接近も視野に入ってくる。今期の税引き利益がマイナス20億円と赤字転落見通しだけに、厳しい状況。

売買メド  
直近値 ● 933円  
目標値 ● 900円以下



# 買い銘柄と売り銘柄のサヤで儲ける 今週のペイトレード大作戦

担当/本誌・ペイトレード研究班

## マーケット・リスクをヘッジしながら儲ける方法

ペイトレードとは、ある銘柄を買うと同時に別の銘柄をカラ売りする投資手法。「ロング・ショート」などとも呼ばれる、個別銘柄を使った一種の裁定取引だ。この手法の利点は、マーケット・リスクを避けられることで、安全性の高さが魅力。ただし、買い銘柄と売り銘柄の売買代金(株価×株数)を同程度にすることが必須条件となる(例:買い銘柄約100万円+カラ売り銘柄約100万円)。

### ペイトレード銘柄① みずほ証券

(買い銘柄)

8606 東証1部 売買単位1,000株

**相場環境好転で戻り歩調** 2010年に入って、日経平均株価が連日の昨年来高値更新となるなど、株式相場の堅調ぶりが目立っている。ここから先、調整安は当然だろうが、米国株などの動きからしてもジリ高局面が続くのではないかと見られる。となれば、市況株の代表である証券株の出番だ。当社株は、今年に入ってようやく動意づいてきた。まだ75日移動平均線が頭を押さえているが、200日線にガッチリ支えられている。

売買メド  
直近値 ● 303円  
目標値 ● 326円抜け



### ペイトレード銘柄② キューピー

(カラ売り=信用の売り建て銘柄)

2809 東証1部 売買単位100株

**上値限定の動き** 今期の連結経常利益が16%増益見通しと、業績面ではとくに問題もなく、配当も2円増配の見込み。それだけに、このところの株価推移には合点がいかないが、1,000円台に乗せると戻り売りの展開で、上値は限定的とみる。75日移動平均線と200日線がともに頭を押さえており、12月30日の大陰線で当面は売り方優勢の様相を呈してきた。突っ込めば買いだが、1,000円台に乗せれば仕掛けたい。

売買メド  
直近値 ● 1,001円  
目標値 ● 980円近辺



# ニューヨーク・ダウをサキヨミする!

担当/チャート分析家・石丸雄治

## トレンド転換の兆しは見えず、強含みの展開が継続

前号(12月26日号)では、「年初来高値更新で、ジリ高歩調続く」と予測したが、今年に入ってもその傾向は不変。12月31日には10,423ドルまで下げたものの、当日の25日移動平均線である10,425ドルを割り込むことはなかった。そして、1月4日には大陽線で10,600ドルを回復、7日も10,612ドルまで上昇して、高値更新が続いている。「増田足チャート」の先読みチャートを見ても、3日足、25日足、75日足がともにピンクで、目先的にはトレンド転換の兆しは見えない。来週は25日移動平均線あたりへの調整があったとしても、強含みの展開が続くと読む。



# 「ミニ先物」をサキヨミする!

担当/チャート分析家・石丸雄治

## 昨年8月の高値を更新、過熱感出るも一段高気配濃厚

前号(12月26日号)では、「スピード調整が必要な展開だが、上値指向継続」と予測した。読みどおり、昨年12月30日に10,525円で引けたあと、今年1月5日にはザラバで10,800円の高値をつけた。これは、昨年8月31日に民主党政権への期待から買われた10,770円という高値を上抜いたもので、これはじつに大きな意味がある。ただ、1月8日に10,830円まで上昇したことで短期的な過熱感も出てきたことは否めない。しかし、1月4日に25日移動平均線と75日移動平均線がゴールデンクロスしたことで、中期的には一段高が有望になってきた。



Mr.ストップ高  
**天海源一郎の「儲けてこそ、株！」**



天海源一郎 ● 株式ジャーナリスト、個人投資家。

**短期投資では尚更強気継続がいいだろう**

2009年の日経平均は「年足陽線」で終了し、年足ベースの3年連続陰線は回避された。長期低迷相場終焉に対する期待が持てるものと言える。加えて、足元の相場は（言うまでもなく）堅調な動きだ。典型的な「動きに乗ると儲かる局面」ではないだろうか。短期投資なら尚更そうと言えよう。その場合、すでに大きく上昇している銘柄の継続性に賭けるか、動意づいている銘柄の一段高に賭けるかという選択になる。下げている銘柄に用はない。

**天海源一郎の今週のイチ押し銘柄 日本触媒**

4114 東証1部 1,000株

**業績堅調にテーマ性が加わる** 今中間期の営業利益は期初予想の50億円から大きく上ブレし、59億円の着地となった。このほか、直近で「燃料電池に使用される電解質の増産を行なう」とも報じられ、業績堅調にテーマ性まで加わった格好だ。同社の想定為替レートは1ユーロ=120円、1ドル=90円とされており、とくにユーロの想定が保守的で、これも今後の業績を支援することになるだろう。

売買メド  
**直近値 ● 832円**  
**目標値 ● 900円**



担当／本誌・カラ売り銘柄発掘班

**同業他社に比べ、配当利回りで見劣る大正製薬**

年末からの株価反騰で、おおむね売り方は大惨敗。買い方圧勝のなか、2010年相場の第1週が終わった。ここからは出遅れ物色の流れとなることが予想されるだけに、カラ売り銘柄もそのあたりを踏まえて選びたい。

大正製薬（4535）は大衆薬の最大手だが、主力のドリンク剤の低迷に加えて、改正薬事法の影響も受けている。日経平均株価が高値を更新しているにもかかわらず、株価は1,600円近辺と冴えない。今期の連結経常利益は10%近い減益で、配当利回りが1.7%にとどまる。製薬大手、武田薬品の配当利回りはこれだけ株価が上昇しても、まだ4.6%もある。



# 成功銘柄チャート分析

杉村銘柄のハドソンが、8%高で「短期大成功銘柄」に!



## タラレバ編集後記

前号の配信銘柄の騰落率は、年末年始の休みがあったため、12月28日(月)から1月8日(金)までの8営業日を算出期間としました。この間、日経平均株価は2.40%の上昇で、昨年8月の高値を更新しました。配信10銘柄のうち、東芝だけが日経225採用銘柄でしたが、指数を1.4%ほど上回るパフォーマンスを見せました。

このようななか、杉村銘柄のテラとハドソンが両方とも「短期大成功銘柄」となりました。ハドソンは終値ベースでも日経平均株価を大きく上回る上昇率だけに、今後も楽しみな存在です。仮にハドソンを455円で5,000株購入し、479円で手仕舞いしていたら、12万円の利益になった計算です(取引コスト除く)。

新春特別企画  
**2009年相場検証**

**月別値上がり第1位銘柄一覧(日経225採用銘柄)**

年月	コード	銘柄	前月終値	当月始値	当月高値	当月安値	当月終値	上昇率
09/1	6952	カシオ計算機	559	589	740	589	717	28.26
09/2	6305	日立建機	905	885	1,201	882	1,155	27.62
09/3	8253	クレディセゾン	651	639	1,101	622	955	46.70
09/4	6773	パイオニア	129	134	415	131	314	143.41
09/5	6764	三洋電機	162	163	245	160	239	47.53
09/6	6508	明電舎	384	382	644	379	558	45.31
09/7	3436	SUMCO	1,375	1,371	1,796	1,311	1,775	29.09
09/8	6361	荏原	306	310	444	300	417	36.27
09/9	2914	JT	269,900	270,300	330,000	259,500	308,000	14.12
09/10	9983	ファーストリテイリング	11,360	11,470	16,250	11,400	15,120	33.10
09/11	3404	三菱レイヨン	318	314	372	263	370	16.35
09/12	6473	ジェイテクト	847	848	1,198	836	1,185	39.91

**月別値下がり第1位銘柄一覧(日経225採用銘柄)**

年月	コード	銘柄	前月終値	当月始値	当月高値	当月安値	当月終値	下落率
09/1	6841	横河電機	582	602	627	411	415	28.69
09/2	9737	CSKホールディングス	379	364	373	175	175	53.83
09/3	8308	りそなホールディングス	1,707	1,660	1,698	1,305	1,310	23.26
09/4	1605	国際石油開発帝石	683,000	703,000	749,000	586,000	623,000	8.78
09/5	3103	ユニチカ	109	99	115	86	86	21.10
09/6	4063	信越化学	4,980	4,920	4,990	4,310	4,480	10.04
09/7	9202	全日本空輸	337	328	328	262	264	21.66
09/8	7731	ニコン	1,902	1,924	2,010	1,553	1,601	15.83
09/9	8604	野村ホールディングス	823	819	826	522	553	32.81
09/10	3086	Jフロント	541	542	550	429	436	19.41
09/11	6764	三洋電機	228	227	238	148	155	32.02
09/12	9205	日本航空	92	92	110	60	67	27.17

(注)上昇率、下落率は前月終値に対する当月終値の数値。